

初めてお使いになる前に

①まず、トーチからノズルと絶縁筒を取り外してください。トーチネジが次のものであればユニットノズルの取り付けができます。



取り付けねじ	トーチ・タイプ
ウイット W1/2 x 12 山	ナショナル(N)
メートル M12 x 1.75	ダイヘン(D)

②トーチのネジ部にシールテープを巻いてください。これは、絶縁のためとねじ込みを底当てしないために絶対が必要です。



絶縁インサート付きアダプター(ADE24-1/2V)をご使用の場合にも、次項のネジ止め緩衝材としてシールテープはたいへん有効です。

③次に、ユニットノズルのアダプタをねじ込んでください。この時、ねじ込みを底当てするとア

ダプタの配管ポート位置が（トーチ軸円周上で）決められないのでご注意ください。



④交換ノズルとナット(N24)を取り付けてください。ユニットノズルは、絶縁筒に市販ノズルを装着したものと同じ長さです。

また、セラミコートノズル従来形は、市販ノズルと同じ形状をしており、内径 x 長さで型番表示をしています。



ナットには、別売りの六角ナット(HN24)もあります。工具を用いる作業時に使用します。

⑤オリフィスを使用する場合には、専用オリフィスをご指定ください。



AO-0

【取扱上の注意】

- ① 交換ノズルは、セラミコート製とセラミック製を使い分けてください。



セラミコート製のノズルは中～薄物部品の断続（点付け、量産）加工用です。高電流値での連続溶接や混合ガスの使用などによって、ノズルが溶解温度に達することがあります。

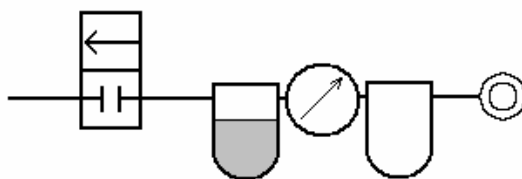
セラミコート製は 250A 以下の低電流値にてお使いください。

セラミコートは、アルミ素材を被うセラミック被膜にシリコンオイルを含浸させたものです。シリコンオイルは、単にスパッターの付着を防止するだけでなく、セラミック被膜の封孔剤として被膜の絶縁性を高めます。

絶縁性が守られることによって、アーク放電の戻りイオンによる昇温がないため、ノズルは熱くなりません。そして、熱くならないノズルにはスパッターはくっつきません。

- ② エアによるノズル清掃の自動化を行なってください。

セラミコート被膜は、付着防止剤の助けがなければ正常に機能しません。そこで、（エア 3 点セットの）**オイラーに付着防止剤を入れて、電磁弁で定期的にエアブローをしてください。**この時、エア圧は高い方が効果的なのでエアレギュレーターは不要です。



- ③ オイラーによるエアへの付着防止剤の混入量は、ごく微量です。エア吹き出し口の 2～3 cm 先に紙をかざして 5～10 秒間エアをあて、わずかに油が紙ににじむ程度が適量です。多過ぎると場合によっては後工程（塗装など）に影響を与えることがありますのでご注意ください。

- ④ スパッター付着防止剤

これは、セラミコートノズルの被膜に含浸させているシリコンオイルを容器に小分けしたもので、セラミコート（多孔質セラミック被膜）によく沁みこみ、スパッターの付着を防止するとともに、ノズルの絶縁性を高めます。



500cc 入り